

第2次行財政再構築プランの進捗状況

(平成27年9月末現在) について

行財政再構築の着実な推進を図るため、第2次行財政再構築プランの進捗状況については、庁内の行財政改革推進本部に報告し、評価を受けるとともに、半期ごとに有識者・市民により構成する行財政再構築推進委員会に報告を行い、意見や助言をいただくこととしています。今回は、各プログラムの平成27年9月末現在の進捗状況について、報告します。

1 各プログラムの平成27年9月末進捗状況

平成27年9月末現在のスケジュールの進捗状況については、全62項目（再掲1項目）の取組のうち、59項目が「予定どおりに進捗」、3項目が「予定よりも遅れている」となりました。今回の進捗状況は主に進行状況について評価を行っておりますが、年度末の評価では成果も踏まえ評価を行う予定です。

【表1】各プログラムの進捗状況（平成27年9月末）

分野	予定以上に 進捗 (S)	予定どおりに 進捗 (A)	予定よりも 遅れている (B)
I 地域協働の推進 (15項目)	0	14	1
II 情報の共有と双方向のコミュニケーション (5項目)	0	5	0
III PDCAサイクルの構築 (7項目)	0	7	0
IV 財政基盤の強化 (18項目)	0	16	2
V 執行体制の再構築 (17項目)	0	17	0
計	0	59	3

【参考1】着実に進んでいる主な取組（例示）

予定以上及び予定どおりに進捗している取組のうち、これまでに成果を上げつつある取組を以下のとおり、例示します。なお、上半期報告については、スケジュール等の進捗状況を中心に評価しております。成果指標の達成状況については、年度末報告時点で掲載します。

No.7 協働事業の推進（スポーツボランティアの育成）

【文化スポーツ課】

取組の概要	地域でのスポーツ指導やニーズの異なる各世代のスポーツ活動を支えるため、スポーツボランティアを育成する。
27年度の年度計画	4月に開催する「小平グリーンロード歩こう会」や市民スポーツまつりなど、市民を対象として開催するさまざまなスポーツイベントに受付案内や会場整理など運営係員として積極的に関わる。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えて、スポーツボランティアの研修会を実施するとともに、学生など若い世代を取り入れるために市内の大学等にPR活動を積極的に行う。
27年9月末の進捗状況	4月19日（日）に開催した小平グリーンロード歩こう会においてスポーツボランティアを6名派遣し、実践の場を設けた。なお、ボランティア登録者全員に各種スポーツイベントの情報提供を行うとともに、10月以降予定している多数のスポーツイベントを活用し、活動の機会を広く提供する準備を進めている。 さらに、スポーツボランティアの新たな発掘と育成を目指した講演会の開催（10月・12月）に向け、体育協会や社会福祉協議会など、地域の多様な主体と協働で取組調整を図っている。



小平グリーンロード歩こう会の様子

No.20 なるほど出前講座「デリバリーこだいら」の推進

【秘書広報課、全課】

取組の概要	市政に関する基礎的な情報等の提供の推進を図るとともに、市職員と市民及び団体等との交流機会の拡大に資する。
27年度の年度計画	平成27年4月1日にメニュー改定を行い、引き続き「デリバリーこだいら」のPRに努め、出前講座を実施する。それにより、市政情報の提供の推進を図るとともに、市民意識等の把握に努める。
27年9月末の進捗状況	平成27年4月1日にメニュー改定を行い、改定の内容を、市報4月20日号で広報を行った。 市民からの依頼に基づき、随時出前講座を実施し、市政情報の提供の推進と、市民意識等の把握を行うことができた。

No.62 広域連携の推進

【政策課、各所管課】

取組の概要	市域を越えた行政課題への効果的かつ効率的な対応を図る。
27年度の年度計画	市域を超えた行政課題への効果的、効率的な対応を図るため、多摩北部都市広域行政圏協議会等の場において、広域連携に関する検討・調整を行う。また、国分寺市との連携についても、引き続き、調整・協議を進める中で、様々な観点を踏まえ検討する。
27年9月末の進捗状況	多摩北部都市広域行政圏協議会幹事会、担当者会議などの場において、広域連携の推進・調整を行った。 また、国分寺市との連携については、国の委託事業である「新たな広域連携促進事業」について、国分寺市に協力して実施することとした。

【参考2】 予定よりも遅れている取組一覧（3項目）

No	項目名	平成27年9月末 進捗状況	要因と今後の対応
12	地域コミュニティの形態や期待される役割等についての検討	学園西町地区において地域連絡会を2回開催。顔の見える関係作りも進み、今後の方向性を議論する段階に入っている。その他の地域においても、独自につながりを構築する取組が見られており、市も連携を模索している。	<p>【要因】 学園西町地区においては地域連絡会を開催し、顔の見える関係作りも進んでいるが、他の地域において、地域連絡会を設置することなどに関する意識を高めていくことに時間を要するため。</p> <p>【今後の対応】 学園西町地区における取組を推進することにより、他の地域における同様の取組へとつなげる。</p>
40	補助金の見直し	定期的な見直しをするための制度設計、補助団体からの実績報告書をもとに所管課で自己評価を実施するための手法の検討を行った。	<p>【要因】 定期的な見直しの制度設計、所管課での自己評価の手法の検討を行ったが、対象団体や評価内容等の整理に時間を要しているため。</p> <p>【今後の対応】 今年度中に実施可能な手法を取りまとめ、試行的に実施する。</p>
45	小平市シルバー人材センターの経営改善の要請	シルバー人材センターの「第2次中・長期目標」の主な活動目標及び数値目標の進捗状況については、相互で確認を行い、年度末までに達成率90%の推進を実現できるよう調整を行った。 補助金のあり方については、各自で現状の課題等の整理を実施した。今後、効率的かつ適正な補助金のあり方について相互調整を行い、補助金の見直しの方向について決定していくことを確認した。	<p>【要因】 「第2次中・長期目標」の数値目標が高い水準で設定しているため。</p> <p>【今後の対応】 「第2次中・長期目標」の数値目標（特に契約金額）の達成のため、下半期に向け、事業実績の拡大等に努めていく。</p>